

2020
No.385

12

2021
No.386

1

新春
増大号

謹賀新年

令和三年 元旦 丑

双龍



The Shobara Chamber of
Commerce & Industry

[YA:KU]

- URL <http://www.shobara.or.jp/>
- e-mail shobaracci@shobara.or.jp

庄原商工会議所報

- 発行所 / 庄原市東本町1-2-22 庄原商工会議所
TEL0824-72-2121 FAX0824-72-6608
- 発行日 / 令和3年1月15日 ● 印刷 / 平和印刷株式会社



年頭所感

庄原商工会議所 会頭 佐々木 満



新年明けましておめでとうございます。令和三年新春、皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私事ですが、昨年12月初旬に新型コロナウイルスに感染し、会員・地域の皆様に変なるご迷惑、ご心配をお掛けしましたこと、衷心より深くお詫び申し上げます。12月17日の検査で「陰性」を確認後退院しました。結果的に接触者すべての方が症状も無く、「陰性」判定であったことが、辛い中にもほっとしておるところです。あらためてこの度は私のちょっとした緊張感の欠如が原因でご迷惑をお掛けしましたこと、深く反省するとともに幾重にもお詫び申し上げます。

昨年を振り返りますとオリンピックイヤー、令和最初の新年で、誰もが明るく賑やかな一年を期待するスタートでありましたが、中国の一都市で発生した新型ウイルスが瞬く間に世界中に大きな陰を落とし、人々の営みを一変させました。緊急事態宣言中は経験したことのない異様な日常のなかで、特に飲食・観光業の皆様の痛みは相当なものでしたが、一市民の声掛けから始まった「備北テイクアウト応援プロジェクトの輪」が拡がり、連帯感や市民の絆が深まったことが辛い中にも微笑ましく、郷土愛を誇りに思う出来事でありました。その後秋口にはGoTo関連や県の支援策もあり、飲食・観光は結構持ち直しておりましたが、年末の感染拡大を受けての、支援策の中止が響き、大きな不安を抱えたまま年を越すことになりました。まだまだ相当な辛抱が必要ですが、少なくともこれまでは経営者の踏ん張りや国・県市の各種助成・給付のお陰で一件の倒産も無く、ほっとしているところです。特に庄原市の手厚い支援には改めて感謝を申し上げます。一方、気になる指数につきましては人口の方は11月末で34,239人と前年から673人減り、有効求人倍率では世情を反映し昨年同時期の1.50から一気に1.01となり、業種によっては働き場の無い環境が続いております。観光についても言うに及ばずといった状況で昨年比35%減の170万人という厳しすぎる予測と聞いております。

続いて会議所の方もコロナ対応に追われた一年でありました。約300件の助成・給付・融資の申請のお手伝い、アドバイスやGoTo関連への参加案内、手続きに職員全員で当たりました。また昨年引き続きスマート農業、過疎地型MaaSの社会実験に取り組み、それぞれ先進地として注目をされているところです。昨年大好評だった地元高校生向けの就職ガイダンスはコロナで断念せざるを得ませんでしたが、ガイドブックを更新するとともに、一般向けの就職説明会では34名の来場をいただきました。その他にも古民家ステイ事業も3棟目が稼働し、市外3社のサテライトオフィス開設にもお役に立てたと思っております。

このようにコロナ禍のなかで制約もありましたが、総じて将来に向け有意義な一年とすることが出来ました。改めて庄原市をはじめ関係者のご支援ご協力に御礼申し上げます。

さて、今年についてお願いと、私どもの新しい取り組みをお話させていただきます。

まずは昨年に引き続きかんばの件です、庄原市におかれては現在前向きに検討されていると聞いていますが、まず結論から申しますと、是非とも早期に取得いただき公設民営というスキームで施設改修・運営戦略も

広島弁護士会所属(弁護士登録番号47310)

三浦益隆法律事務所

弁護士 三浦 益隆

〒727-0012

広島県庄原市中本町一丁目3-1 渡辺ビル2階
庄原警察署隣 比婆医院様2階

業務内容

- 離婚・相続などのご家庭の問題
- 債権回収・契約書チェックなどの企業様の法務
- 交通事故・近隣トラブルなどの事故対応
- その他法律業務全般・訴訟代理

☎0824-74-6310

<https://www.miuramitsutaka-law-office.com/>

見直し、新たな庄原の顔としてリスタートしていただきたいと考えております。当然会議所においても、資本増強をはじめしっかりとした支援を惜しまない決意です。購入及び戦略的改修で数年は大きな負担をお願いするかと思いますが、観光面での相乗効果、波及効果は言うまでもなく、投資効果においても将来的に十分リターンが見込めるものと考えております。

本年の取り組み

1. 「いざなみカード」の推進

この度、市内商工団体、庄原DMOの4者が協議会を立ち上げ、庄原市の格別の支援のもとで、キャッシュレス決済カード「いざなみカード」を普及させて参ります。地域内での経済循環が大きな課題のこの地域にとって千載一遇の機会を作っていただいたと感謝しております。ネットや量販店での購買が主流になっているこの時代において、敢えて自分たちの地域は自分たちで守り、育てる気風を発信できればと思っております。会員各社の奮っての参加をお願いします。

2. バーチャル企業説明会の開設

この地域においての最重要課題は人口の維持です、昨年申しました地産地生の考え方(地域で育った子供達が続いて地域で働き、暮らす)よう、子ども達の地元就職に向け、しっかりと施策を打って行きたいと考えております。

その第一歩として、昨年コロナで断念せざるを得なかった就職ガイダンスに代わる地元企業による、ネット上でのバーチャル企業説明会の開設を現在進めており、春には完成の見込みです。もちろん状況が許せば例年どおり、リアルなイベントも開催します。

これにより地元企業の素晴らしさをいつでも、より鮮明に子供達に伝えられるツールになるものと思っております。

3. 仮称 庄原コミュニティーオフィスプロジェクトの展開

この3年間にいきいき働く協議会、MaaS、スマート農業、企業誘致に取り組んで来ましたが、元をたどれば「庄原の人口問題をとことん考える民間会議」での取り組みや人の縁が、更に多くのステークホルダーも巻き込み、発展し続けているとしみじみと感じております。こういう思いからも「人が繋がり、知を育て、動きが始まる」そんな拠点を作りたいという思いから市内の若手経営者とともに、現在、仮称 庄原コミュニティーオフィスプロジェクトを春を目処に稼働すべく、準備を進めておるところです。もちろん庄原市ともしっかりと歩調を合わせて行きたいと考えております。

以上、今年も前向きに且つ能動的に取り組んで参ります。兎にも角にもコロナの終息を願うばかりで、一日も早い特効薬と、ワクチンの普及が一番ですが、皆さんと共にこの難局に立ち向かって行ければと思っております。今年もどうぞご支援ご協力をお願いします。

結びになりましたが、本年が皆様にとりまして、実りある一年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



まごころと信頼の提供

庄原市総合サービス 株式会社

〒727-0012

庄原市中本町二丁目13-24

TEL.0824-75-0600

FAX.0824-75-0611



<http://sogo-service.sakura.ne.jp>



庄原いちばんづくりの推進

庄原市長 木山 耕三



謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、本年が穏やかな年となりますよう心より願っております。

貴会議所におかれましては、佐々木会頭のもと、創意工夫を凝らし、域内産業の振興を通じ、安心して暮らせるまちづくりの一翼を担っていただいております、皆様のご協力を大変心強く感じております。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大で、多大な影響を受ける市内事業者の相談役として、様々な角度からきめ細やかなサポートを行っていただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

現在、本市では、「新しい生活様式」に対応したキャッシュレス決済の導入に向け、市内商工団体等と密接に連携した取り組みを進めております。貴会議所をはじめ商工団体の皆様のご尽力に感謝と敬意を表する次第でございます。本事業は、全市民を対象とした電子マネー付きポイントカード「いざなみカード」を導入し、1万円分のプレミアムポイントを付与することにより、コロナ禍で影響を受けている事業者や家庭を支援いたしますとともに、域内経済の好循環へつなげる事を目指しております。

さて、令和3年度は、第2期長期総合計画の後期実施計画が始まる重要な年となります。長期総合計画に基づく総合施策の展開と「庄原いちばんづくり」による重点的な事業推進を図ってまいります。

「地域産業のいちばん」では、比婆牛、庄原産米などのブランド化をさらに進めるとともに、庄原材活用システムの構築とブランド化による「儲かる循環型林業」の実現と、森林体験交流施設の整備により「みらいを担う人を育む林業」の具体化を進めます。

次に「暮らしの安心のいちばん」では、これまで、産科医療再開に加え、こども未来広場整備など、安心して子どもを産み育てる環境の整備を進めており、令和3年からは放課後児童クラブ施設整備に取り組み、さらなる充実を図ります。

最後に「にぎわいと活力のいちばん」では、いよいよ令和3年から、庄原市民会館・庄原自治振興センター改修工事に着手します。また、庄原DMOを中心にマイクロツーリズムの推進、密の少ない庄原の強みを生かした観光プロモーションを展開するなど、にぎわいを創出してまいります。こうした取り組みに全力を傾注し、「やっぱり庄原がいちばん」と実感できるまちづくりの実現を目指してまいります。

そして、平成30年・令和2年の豪雨で被災した箇所の災害復旧・復興の更なる加速化を図りながら、引き続き市民の皆さんの安全・安心な暮らしを守るため、各分野における関係団体の皆様と連携・協力してまいります。貴会議所並びに会員の皆様におかれましても、これまで以上にご支援ご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。

結びに、庄原商工会議所の益々のご発展と新しい年が会員の皆様にとって幸多き年となりますよう、心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

おうちのお困りごと **まるごと** 解決!

不用品・空き家ゴミの片付け

株式会社 チューグイ

ハウスクリーニング

害虫駆除 (ハチ・シロアリ等)

本社 〒727-0012

庄原市中本町一丁目3-31

まずお電話ください!! 無料で見積りいたします。 ☎ (0824) 72-0655

年頭所感

広島県議会議員 小林 秀矩



新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方には念頭にお会いできることを楽しみにしていましたが、コロナ禍の影響によりこのような形でご挨拶をさせていただくことになりました。

昨年からのコロナウィルス感染により、世界中において、医療面でも経済面でも大きな影響を受けており、特に医療や介護福祉現場に関わっておられる皆さんには最前線での対応に敬意と感謝を申し上げるものであります。

コロナウィルス感染の影響は非常に大きいことから、今はすべての業種、すべての皆さんができる対策、できる行動を考え、実行していかなければならない時期だと考えています。

また、現在の生活や体制の現状を分析し、新たな未来に向けて現状を見直す好機とも考えられます。

時代は絶えず変化しており、それに対応した行動が求められます。今を乗り切り、迎え来る新たな時代に向かって地域が取り組む課題や対策を明確にし、協力できる部門は連携して取り組み、未来に向けた体制を整備する大切な時期だと思えます。

先日、広島市で宮角孝雄さんの写真展が開催されましたが、宮角さんのように市内出身者で様々な分野で活躍されている方々がたくさんおられます。

そのような方々の活躍されている姿を私たちの元気の素としていただき、地域課題に真摯に向き合い、その解消のためにいかに取り組んでいくか、いかに私たちが充実した時間を作っていくことができるかを考え実行していくことで、難局を切り開いていくことができるものと思えます。

豊かな自然環境を守りながら、心豊かに生きていく中で、地域が豊かで住みよい地域となるよう願うものであります。

どうぞ、皆様方にはそれぞれの分野でお持ちの強みを最大限に活かされ、地域の魅力を高めるため連携され、それぞれに良い成果を上げていただきたいと思います。

結びに、皆様方のますますのご活躍を願い、新しい年が皆様方にとって希望に満ちた幸多き年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。 令和3年元旦



民間車検場
株式会社 **みづほ**

広島県庄原市新庄町王子88-59
TEL 0824-72-1163(代)

マイカーランドみづほ

広島県庄原市新庄町382-1
TEL 0824-72-4521(代)

年頭所感

日本商工会議所 会頭 三村 明夫



明けましておめでとうございます。2021年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年1月にわが国で初めての新型コロナウイルス感染者が報告されてから、早くも1年が経とうとしています。コロナ禍にあっても、今なお必死に経営努力を続けておられる皆さまに深く敬意を表するとともに、われわれ全国515の商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまと地域経済の発展のために力を尽くしてまいります。

さて、わが国経済全体は、緊急事態宣言が発令された昨年4-6月期のGDPがリーマンショック時を超える戦後最大の落ち込みを記録した後、7-9月期には持ち直しの動きへと転じました。しかし、秋以降に再び感染が拡大する中、その後の回復に向けた足取りは依然として重いままです。

一方、コロナ禍を通じて、政府・民間を含めた国全体としてのデジタル化の遅れ、過度な大都市集中のリスクと適切な地方分散化の必要性、危機下における医療提供体制のあり方、中央と地方の権限分担のあり方など、日本の多くの課題が浮き彫りとなりました。また何よりも「強く豊かな国でなければ国民を守れない」ということに皆が気付いたのではないのでしょうか。激甚化する自然災害、新たなパンデミック、地政学上の混乱等は今後も起こり得るものであり、わが国がそのような不確実性の中を生き抜いていくためには、不確実性を吸収できるバッファとしての「戦略的ゆとり」が不可欠であります。

昨年の菅政権発足以降、私は政府に対してこの「戦略的ゆとり」を持つ必要性、またそのためにも経済成長が欠かせないものであることを訴えてきました。経済成長は労働投入×資本投入×全要素生産性で定義されます。これまでの深刻な人手不足の中で、女性や高齢者など労働参加が大いに進みました。しかしさらなる労働参加率の向上には限界があり、将来不安により消費が伸び悩む中では国内での新たな設備投資による資本蓄積も多くは望めません。従って、わが国の経済成長のためには、残る「生産性の向上」が必須なのです。

一国の生産性は「一人当たりGDP」で表されますが、日本は2018年時点で世界第31位に甘んじています。「一人当たりGDP」は国民一人当たりの豊かさだけでなく、効率的に働き得られた余暇を人との繋がりに充てることで、幸福度を向上させる指標にもなることから、私はこれを日本の新たな国家目標に据え、その引き上げのために皆で知恵を絞り、汗をかくべきだと考えます。

日本全体の生産性向上のために、商工会議所は、以下の3点に取り組んでまいります。第一は、コロナ禍への対応支援です。環境変化に対して、柔軟に素早く対応できることが中小企業経営者の強みであり、コロナを契機として新製品やサービス開発、業態転換、EC等も活用した国内外への販路開拓などに積極果敢に挑戦する経営者を、しっかりと後押ししてまいりたいと思います。

第二は、デジタル化を通じた生産性向上です。コロナ禍で初めてテレワークを体験し、デジタル技術の有用性に気付いた経営者も多いと思います。また、国や地方公共団体が今後デジタル化を進める中

建築設計事務所
建築工事業
土木工事業
とび・土工工事業
管工事業
水道施設工事業
公共下水道登録
集落排水登録
庄原市指定給水登録



有限会社 藤本工務店

〒727-0021 広島県庄原市三日市町299-3

TEL (0824) 72-3146(代) FAX (0824) 72-2454

で、民間企業側もそれに対応していく必要があります。まずは身の丈に合った、低コストで利用可能なIT導入から始め、徐々にステップアップするなど、IT導入補助金等の支援策もフル活用し、中小企業のデジタル化を推進してまいります。

第三は、取引適正化です。大企業と中小企業が強固に結び付いた日本経済の強さは、大中小の石が組み合わさって風雪に耐える「石垣」に例えられてきました。しかし、その石垣も修復、再構築する時期に来ています。サプライチェーン全体のデジタル化により効率性を高め、コストアップや付加価値をフェアに分け合い取引価格の適正化を図る「大企業と中小企業の新たな共存共栄関係」の構築が必要です。商工会議所は、この趣旨に賛同した企業による「パートナーシップ構築宣言」の宣言企業が1,000社を超えるよう、積極的に後押ししてまいります。

加えて、本年いよいよ開催が見込まれる東京オリンピック・パラリンピックを、復興五輪であると同時に、感染拡大防止と社会経済活動を両立させる具体的なプロジェクトとして位置付け、国民運動を盛り上げていきたいと考えております。

最後に、近代日本資本主義の父であり、東京商工会議所初代会頭の渋沢栄一翁は、関東大震災の混乱の渦中にあっても「逆境のときこそ、力を尽くす」自らの信念によって、晩年であってなお、わが国を立て直すべく精力的に奔走されました。渋沢翁の意志を受け継ぎ、今年も日本商工会議所は全国のネットワークを最大限活用し、中小企業と地域の発展、日本経済の再生に向けて、先頭に立って頑張ってまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願いし、私の年頭あいさつとさせていただきます。



ひろしま牛
黒毛和牛

(有)中元精肉店

庄原市西本町一丁目17-4

電話 72-0029

FAX 72-8829

市長と経済団体の会談

■ 広報しようばら1月号「新春対談」
■ 12月3日(木) 13:00~14:30



(1) 令和2年の振り返り

① 令和2年の市・各団体の取り組み事例

▶ **市長** 令和2年を振り返ると、平成30年、令和元年に市内で災害が起き、全力で災害復旧に取り組んでいるさなか、新型コロナウイルスへの対応に終始した、大変苦しい、重たい一年であったように思います。

感染症への対応については、4月に商工団体の皆さんと会議を開催し、連携した取り組みと事業者支援をどう進めるべきかご意見をいただきました。国の緊急経済対策にあわせた事業者支援を大変スムーズに対応できており、改めて皆さんのご協力に感謝申し上げます。

感染症対策以外では、私が市長就任以来取り組む、「地域産業」「暮らしの安心」「にぎわいと活力」を柱とした「庄原がいちばんづくり」において、「地域産業」では、比婆牛のブランド化の推進に取り組んでいますが、2月に西日本のサービスエリアなどが提供する肉料理のコンテストで、七塚サービスエリアの提供する「比婆牛」を使ったメニューが、「但馬牛」や「神戸牛」などを抑え、グランプリを受賞しました。

そして10月には、サテライトオフィスの開設を予定する企業3社と「相互協力基本協定」を締結しました。

「暮らしの安心」では、4月、庄原赤十字病院産婦人科に常勤の医師が1人赴任し、常勤医師2人体制となりました。市においても、庄原こども未来広場の小児科診療所・病児病後児保育施設・子育て支援施設に続き、庄原版のネウボラ「子育て世代包括支援センター」を設置することで、子どもを産み、育てる環境のさらなる充実を図りました。

「にぎわいと活力」では、皆さんにご支援ご協力をいただき、庄原DMOを設立しました。

また、10月には備後庄原駅舎、11月には駅前ロータリーが完成し、交通機関の結節点となっており、市民の皆さんにもしっかり利用していただければと思います。現在も実証実験をしているMaaSについては、今後こういった形で充実させていくかというところで、また皆さんにはご支援をいただきたいと考えています。

▶ **佐々木** 昨年の年初は、オリンピックイヤー、令和最初の新年ということで、誰もが明るい年になると信じていましたが、コロナに振り回された一年だったと思います。

3月以降、4月・5月の緊急事態宣言中は、これまでの人生で経験したことがないような、異様な日常でした。特に飲食、観光、交通関係の皆さんについては、経営に直撃し、大変な心配をしました。

そのような中で、一市民の声掛けから始まった「備北テイクアウト応援プロジェクト」の輪がどんどん広がり、市民の連帯感、絆が深まり、非常に嬉しく感じました。

また、緊急事態宣言中は、企業の倒産を心配していましたが、経営者の踏ん張りや、国・県・市の手厚い支援のおかげで、今のところ、倒産は1件もないと聞いており、ほっとしています。国の手当も厚かったのですが、

21世紀の畳

新畳・スタイロ畳・表替
裏返・畳材・畳床

内装仕上工事業県知事許可番号
許可(般-1)第39475 品質管理認定工場

金島製畳本店

本店 広島県庄原市西本町一丁目17-5 TEL・FAX (0824) 72-0602

中でも庄原市独自の支援も非常に会員企業からも「ありがたい」という声を聞いておりますので、会員を代表して、改めて庄原市にお礼を申し上げたいと思います。

商工会議所は、約300件の助成・給付・融資のアドバイスなど、伴走型の支援を心がけ、会員のお役に立てたのではないかと考えています。

事業では、昨年に引き続いてスマート農業の分野で地元酪農家と県立広島大学のマッチングをしたり、MaaSも地域を変えて、今回は完全スマートフォン予約での社会実験をしたりと、まさにIT化、デジタル化の中で進めています。MaaSについては利用者の評判も良く、早く実用化してほしいという声もあります。社会実験で問題点を抽出し、市の協力もいただきながら、全国に先駆けて実用化できればと思っています。

その他、古民家ステイも3棟目が稼働し、サテライトオフィスの開設についても、協定の前段階で随分お役に立てたのではないかと考えています。

一方で、一昨年には大好評だった高校2年生向けの就職ガイダンスが、コロナ禍により開催できなかったのは少し残念でした。しかし、ガイドブックを更新するとともに、一般の方向けの合同就職説明会を行い、多くの方に参加をいただきました。

コロナ禍の中でいろいろ制約はありましたが、総じて前向きに、能動的に取り組めた一年であったように思います。

▶**石川** 昨年は、1月に新型コロナウイルス感染症が発生し、非常に危惧をしておりました。昨年度に予定した令和2年度の商工会の事業も、9割方が中止に追い込まれました。

そういう中で、コロナ対策として、国・県の交付金・助成金にあわせ、庄原市もいち早く地域の事業者のため、いろいろな手立てを講じていただき感謝しています。

平成26年に制定された小規模事業に特化した基本法に基づき、日頃から備北商工会は、非常に緻密な会員の支援をしてきました。俗に言う伴走型事業を取り入れて、国の補助金をいただきながら「会員一人一人に支援を」との思いで取り組みを進めてきました。

また、昨年度の当初から、専門家に会員の経営に関する助言をしてもらっていましたが、そのような中、備北商工会の管轄では、西城町の県民の森、つづいて比和町の吾妻山の休暇村といった大型の事業所の現状を、非常に残念に思っています。

そういうイメージがあるため、令和2年はいい年ではなかったと、総じて感じています。対面指導、個別指導と、できる限り、一生懸命取り組みましたが、コロナの勢いに打ち勝つことができなかったというイメージの年でした。

▶**後藤** 東城町商工会も同様に、職員が一丸となり、会員へのサービスに取り組んできました。

その中で、当商工会は、一昨年4月からキャッシュレス決済カードのほろかカード事業をスタートさせ、同年の10月から昨年の6月まで、国からの補助金で東城地域の皆さんに5パーセントのキャッシュレス還元をしました。これは大変好評でした。

備北商工会と同様に、昨年は、コロナ禍の中で、他の事業が実施できませんでした。当商工会には「ほろかカード」という武器がありましたので、独自にポイントを付与したり、ポイントを還元したりしながら、「町の中で買い物を楽しもう」「町の中で食事をしませんか」などと呼び掛けるなど、それに特化して取り組みました。また、マイナンバーカードの普及のために国から付与される、マイナポイントにも対応していますので、地域内でほろかカードを普及させて、庄原市のマイナンバーカードの普及率を押し上げようと、コロナ禍の中ではありますが、カードのシステムを利用するなど取り組みを実施しました。

夜間の宴会予約承ります 人数・時間・内容 お問い合わせください

お食事処

花ほぼろ

〒727-0004 広島県庄原市新庄町291-1
「食彩館しょうばらゆめさくら」内
ご予約・お問い合わせ
TEL 0824-75-4516



株式会社

グリーンウインズ さとやま

②新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月に商工団体と会議を開催し、連携した取り組みを実施することを意識統一しました。これまでの取り組みをどう感じていますか。

▶**市長** 国の持続化給付金をはじめとする各種支援制度の周知実施において、商工団体の皆さんには積極的な取り組みを行っていただき、制度の周知や相談、申請支援において、大変強力な支援をいただき、スムーズな申請につなげることができました。

市の独自支援策としては商工関係では「雇用維持支援助成金」や「事業継続応援給付金」「感染拡大防止補助金」などに約4億円、「キャッシュレス決済推進プロジェクト」や「宿泊商品造成事業」「サテライトオフィス誘致支援制度の拡充」などに約6億円を計上しています。コロナ対策の補正予算は6次にわたり、総事業費51億2,900万円にのぼっています。

事業者の方からは「ありがたい」という声をいただいておりますが、まだまだコロナ禍の影響は続くと思定されるため、商工団体の皆さんの意見をお聞きし、しっかりと対策をとらなければならないと考えています。

②' 各地域のコロナの状況、今後の希望や展開についてお話をください。

▶**後藤** 東城でも旅館業や飲食業が大変な影響を受けており、廃業の相談などもありました。今は何とか持ちこたえていても、この先の国の対策が不透明で皆さんが不安を感じています。市と商工団体が一緒に今後の展開を話し合っていければ、事業者の不安を払拭できるのではないかと思います。

▶**石川** 備北商工会が行う経営指導の件数が、コロナの影響で、例年の4割から5割ぐらゐ増える見込みです。補助金や助成金などの延べ件数は、12月末で230件を超えており、全会員数346の6割を超えています。

こうした中、実は一番心配しているのは、感染症が終息した後のことで、どの会員も資金繰りが相当悪化しているのではないかと考えています。終息後のことについては、私たちが知恵を出しながら取り組みをしたいが、市にもお手伝いをしていただかないと、廃業する会員が出てくるのではないかと考えています。

▶**佐々木** コロナの影響は、飲食、宿泊、交通関係で特に深刻でしたが、GoToキャンペーン等の効果で、売り上げは前年対比で7割から8割程度まで回復していたようです。ちなみに緊急事態の時には、前年の95パーセント減など、非常に厳しい数字でした。

ですがここに来て第3波の脅威と、1月、2月がもともと閑散期でもあり、大変心配しています。救いは企業にとっての命綱となっている持続化給付金が2月末まで延長の方向ということで、少しほっとしています。

ただ、今後のコロナの感染状況によっては、一律10万円といったものではなく、業種や深刻度合いによる、メリハリのある支援を、商工会議所連合会も含めて、国、県、市にお願いしたいと思っています。

▶**市長** 今後の展開についての話がありましたが、コロナ禍の中で密の少ないという庄原市の特性や良さを再確認して、将来につなげられるものを探し、そうした地域の財産をしっかりとPRすることで、市民はもとより市外の人にも選んでもらえるような、新しい生活様式に沿うサテライト勤務やワーケーションと言った「新しい庄原生活」を売り込んでいきたいと思っています。そして、現在、令和3年から5年間を期間とする長期総合計画の後期実施計画を策定していますので、計画の中でその取り組みを示してまいります。

(2) 共通話題

①庄原市キャッシュレス決済推進プロジェクトについて何を期待しますか。

▶**市長** このコロナ禍において、いかに事業支援をしていくのか、また、落ち込んでいる経済を回復させるかということで、このプロジェクトを提案していただきました。

東城でいち早く立ち上げられ、注目されていましたが、それを市内全域で行うということが果たしてうまくいくのかという気持ちもありましたが、商工団体の皆さんの協力で、本年の3月にはカードの利用が開始され

Passion creates the future

情熱は未来を創る



NSWEST 株式会社

<http://www.nswest.co.jp>

庄原市新庄町366-2

TEL 0824-72-2033 FAX 0824-75-0020

る運びとなりました。さらに地域でお金が循環する仕組みづくりを加速させるため、1万円のプレミアムポイントを付与することとしましたが、この事業により市内経済の回復への効果を期待しています。

▶**後藤** このプロジェクトは、皆さんの協力がなかったら、できないと思います。「みんなで協力してやろう」という気持ちが一番うれしくて。「隣の町に行って買い物をしてポイントが付く」というだけでも、一体感が出てくると思います。また、カードのデザインも、一体感が出るようなデザインですし、新しい庄原市ができていくのではないかなという期待がわいてくるような事業になればいいなと思っています。

ポイント1万円を付与していただくので、「GoToマイタウン」というような標語をつくって、「地元で使いましょう」と呼びかけたいと思います。このシステムをどう利用していくか、みんなで勉強しながら、協力しながら進めていければいいと思います。

▶**石川** この事業は3団体連携の「庄原商工連携協議会」で昨年提案されたのがスタートであり、事業に着手できてよかったと心の底から感じています。

事業効果を出していくため、商工会の会員もいろいろ考えてくれています。会員にどれだけ協賛店として加入していただけるかが課題と考えていますが、厳しい経営の中で、この事業に参加し、どういう効果があるのか説いていくのが、商工会の役割だと思っています。この事業にはいろいろと将来的な可能性があるんで、ぜひ成功させたいと思っています。

▶**佐々木** 経済循環というのが、できそうでできない。それが大きな課題でしたが、このカードはそれができるツールでもあります。市には10,000円分のポイントの付与など、大きな投資をいただきましたが、本当に千載一遇のチャンスだろうと思います。事業にスムーズに取り掛かることができるのも、先行実施されていた東城町商工会のおかげだと感謝をしたいと思っています。

自分たちの地域は自分たちで守るという思いを、商工団体だけでなく、市民の皆さんにも思ってもらえるように、会議所としても、雰囲気づくりをしていかなければいけないと思っています。

このカードシステムが、軌道に乗るまでは相当な時間がかかると思いますので、市には、定着するまでは支援をお願いしたいと思います。

②日本郵政から譲渡を打診されているかんぽの郷庄原について、どう考えていますか。

▶**佐々木** 結論から申し上げますと、ぜひとも早期に取得していただきたいと思っています。公設民営で、施設改修や運営戦略も見直して、新たな庄原の顔としてリスタートしていただきたいと思っています。会議所としても、資本増強をはじめ、しっかりとした支援を惜しまないという強い決意をもっているところです。

施設譲渡および戦略的な改修という面で見れば、市には初期に大きな負担をお願いするかと思いますが、観光面での相乗効果や波及効果、もちろん投資効果においても、十分リターンがあるのではないかと考えています。

もし市が取得しないということになれば、日本郵政は、民間への譲渡を進められますが、そうなると約半年から1年間程度の休館も想定されます。雇用も喪失もしますし、ダメージも大きくなりますので、ぜひとも市に取得をしていただきたいと強く思っています。

▶**石川** 備北商工会としても、当商工会の役員の意見を聞きながら市による取得についての要望書を提出しました。

観光の中心施設が消えるということは、経済団体としても非常に大きな打撃をうけるので、ぜひ市で取得していただきたい。かんぽの郷庄原の周りには、インターチェンジや、上野総合公園、ゆめさくらなど、いろいろな施設があります。

仕出し料理・テイクアウト弁当・庄原市得泊プラン ご予約承り中

かんぽの郷 庄原

〒727-0004
広島県庄原市新庄町281-1

TEL:0824-73-1800
FAX:0824-73-0100

<http://www.kanponoyado.japanpost.jp>

かんぽの宿

検索

かんぽの郷庄原だけの構想ではなく、庄原のインターチェンジ付近の構想というのをづくり、その中で、かんぽの郷庄原という施設はどういう役割を担い、周囲の施設にどういった相乗効果が生まれるのだという整理をしていただければ、反対する人はいないのではないかと思います。

▶**後藤** かんぽの郷庄原の件に関しては、当会もいろいろと議論したのですが、やはり対岸の火事という見方ではなく、同じ市、まちの中で、こういう施設をしっかりと保っていかないといけないと強く思うところです。東城地域にも、大きな宿泊施設がありますが、もしそれがなくなるということになると、観光業が大変な被害を受け、大きな痛手を負うこととなります。こうしたことから、市による取得を応援するべきだというのが、私たち東城町商工会の考えです。

▶**市長** 大変ご心配をかけているのですが、ご承知の通り、一昨年の11月に日本郵政から、市へ譲渡したいという申し出をいただきました。本年の3月までには考え方を示したいと思っていましたが、コロナ禍の影響でかんぽの郷庄原が一時休業に追い込まれるなどしたため、取得についての判断をいったん延期することとしました。

そういう中で、かんぽの郷庄原のあり方や必要性について、市民や各団体の考え方などをお伺いすると、「必要である」という意見を多くいただきます。しかし、コロナ禍の中でホテル業全体として経営は大変厳しく、取得するのであれば、課題、問題点をしっかりと整理して、それを市民の皆さんに理解をしていただかなければならないと考えています。

現在、専門家に経営分析をしていただいておりますが、このコロナ禍も経験した上で、経営分析の結果を踏まえ、市民の皆さんなどから幅広くご意見をお聞きし、慎重に判断していきたいと思っています。

(3) 令和3年の抱負についてお聞かせください。

▶**市長** 本市では、「庄原いちばん」のまちづくりとして、「地域産業のいちばん」「暮らしの安心のいちばん」「にぎわいと活力のいちばん」の3つの柱で事業を進めています。

「地域産業のいちばん」では、比婆牛のブランド化を推進していますが、県からも県内ブランド牛としてPRにお力添えをいただけるよう話をいただいております。そして、比婆牛の看板をマツダスタジアムに掲げ、比婆牛と庄原を広くPRしたいと考えています。

林業では、22世紀の森ビジョンに基づく、実施計画を策定しています。特に庄原市にはヒノキが多く、関係者から注目されており、「儲かる循環型林業」の実現に向けた取り組みを進めたいと考えています。また、森林体験、林間学校の実施などの場として、旧古頃小学校へ森林体験交流施設の整備を進めています。「未来を担う人を育む林業」の具体化に向けた取り組みを進めていきます。

商工業の振興では、サテライトオフィスについて、庄原の魅力を発信し、さらなる誘致に取り組みたいと思っています。

「暮らしの安心のいちばん」は、国が2050年に向けてCO2の削減に取り組んでいる中で、電気自動車等の活用ができないかと考えており、災害発生時には、公用車として電気自動車を抱えていれば、避難所へ発電機を持っていかなくても、対応ができるのではないかと検討しています。

そして、放課後児童クラブ施設整備に取り組み、さらなる子育て環境の整備を進めていくこととしています。

学校の関係では、GIGAスクール構想の実現に向け、1人1台のタブレットを整備いたします。

新焼却施設も整備を進めており、令和3年度末には完成予定であり、さらなる安心安全で快適な生活環境の確保が図られます。



SUBARU
スバルショップ庄原・庄原七塚

有限会社 **共栄自動車商会**

庄原 / 庄原市東本町1-10-11 tel.72-2137
庄原七塚 / 庄原市七塚町805-4 tel.74-0641



**わにの刺身
販売日本一!**

☎0824-72-5246



西田鮮魚店

「にぎわいと活力のいちばん」では市民会館と庄原自治振興センターの大規模改修を進めていますが、いよいよ令和3年度から4年度で改修工事を実施いたします。

観光振興では古民家ステイやアウトドアでのアクティビティの提案など、コロナ禍の中、「密」の少ない庄原市の強みを生かしたプロモーションにも取り組んでいきたいと考えています。

▶**佐々木** 人の縁というのが実はすごく大事だと、最近つくづく思います。庄原でいきいき働く協議会や、全国初のMaaS、スマート農業、サテライトオフィスも含めて、実は庄原の人口問題をとことん考える民間会議が伏線となっています。そこで出てきた意見や、そこでできた仲間がきっかけになっています。

こういうことから、「人がつながり、知を育て、動きが始まる」拠点をつくりたいという思いから、合同会社を立ち上げます。そして、ここをシェアオフィスとワーキングスペースにして、この春から稼働させます。

また、庄原市においては、人口の維持、人口減少の歯止めというのが何よりも最優先です。とにかく地元で育った子が地元就職し暮らしてもらえるよう、地産地生(ちさんちしょう)の考え方のもと、地元企業によるバーチャル企業説明会をしようと、取り組みを進めています。さらに、デジタル化が進む若年層に、動画で企業説明を行えるよう取り組みを進めているところです。

令和3年は、主にはその2つを柱として取り組んでいきたいと思っています。

▶**石川** 令和3年度は、コロナ後遺症がまだ残っているような状態であろうと思いますので、会員に向けて、しっかりとフォローアップをしたいと思っています。市にも非常に厳しい財政状況ではありますが、配慮をお願いしたいと思っています。

備北商工会は、令和3年度で、5カ年計画の経営発達支援計画の最終年度を迎えます。令和4年度からの新しい計画を策定し、引き続き伴走型の支援に取り組んでいきたいと思っています。併せて、事業継続計画に基づき災害等への対応を明確化し、経営計画の策定など会員指導に取り組めます。

また、地域としては、市長が提案されている、高野から東城を結ぶ比婆いざなみ街道のブラッシュアップ、知名度の向上に力を尽くしたいと思っています。もっとたくさんの宝が眠っています。そこを行政と一緒にPRして、観光誘客や経済効果につなげていきたいと考えています。

▶**後藤** 東城町商工会としては、昨年経営発達支援計画が採択されましたが、コロナ禍で支援事業が実施できていない状況です。今年はまだ一度初年度という気持ちで取り組んでいかなければならないと思っています。

そして、会員がコロナ禍で影響を受けていますので、それを支援していくため、職員のスキルアップを図り、会員を引っ張っていけるような、強い商工会をつくりたいと考えています。

国の補助金・交付金の申請には、市と商工会の連携が不可欠となっています。市と商工会がしっかりと対話できるような関係を築き、両者の連携を強化していきたいと考えています。

また、影響を受けた会員や、まちを元気にするためには、お金もかかるし、人材も必要ですので、そういう部分をしっかりとサポートしていきたいと思っています。

事業主はみんな口をそろえて「人がいない」と言います。ですから、サテライトオフィスの誘致のほか、庄原市をしっかりとPRして、「庄原市に住居を構えたい」と言ってもらえるように、官民一体となって取り組んでいかなければならないと思っていますので、市には連携をお願いしたいと考えています。

▶**市長** 今回はありがとうございました。コロナ禍で苦しい中、知恵の出し方、協力の仕方が大切だと思います。今後、市への皆さんからの要請に応えられるよう体制をとり、また、皆さんともしっかりと連携をとらなければならぬと考えています。今後ともよろしく申し上げます。

| | | |
|--|---|---|
|  <p>司法書士 飯田 一生 (原簿司法書士会所属)</p> | <p>相続空き家問題 成年後見等でお困りの方 あなたの世代で解決しませんか?</p> <p>業務のご案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の名義変更 ● 成年後見 ● 相続登記・遺言 ● 会社の登記 ● 借金の整理 ● 簡易裁判所訴訟代理等 <p>● 詳しくはホームページに記載しています。</p> <p>庄原 司法書士</p> <p>検索</p> | <p>郷土創りに奉仕する総合商社</p> <p>有限会社 林 商 会</p> <p>TEL 0824-72-0914 FAX 0824-72-3204</p> <p><input type="checkbox"/> 本 社 庄原市東本町三丁目9番12号</p> <p><input type="checkbox"/> 三次営業所 三次市四拾貫町字三重775</p> <p>◎土木建築資材販売リース◎足場・防護柵工事一式◎仮設資材リース◎建設残土処分場 ◎不動産事業◎産業廃棄物処理業(木くず・がれき類)◎一般廃棄物処理業(木くず)</p> <p>2021年4月より新規建設残土処分場運用開始予定(山内町)</p> |
| <p>広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)</p> <p>平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。</p> <p>新住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)</p> | | <p>ご用命お待ちしております</p> |

いきいき働く 就職ガイダンス

- 11月13日(金)
- 庄原でいきいき働く就職ガイダンス(合同企業面接会)
- 庄原市/三次公共職業安定所庄原出張所



当所らが中心となって組織する「庄原でいきいき働く協議会」は11月13日(金)、庄原市、三次公共職業安定所庄原出張所などの協力を得て、昨年につき「庄原でいきいき働く就職ガイダンス(合同企業面接会)」を開催しました。

今年の就職ガイダンスは、前年の参加企業数45社から28社の参加にとどまり、昨年実施し、参加企業から好評を得ていた地元企業による地元高校生への企業紹介が実施出来ないなど新型コロナウイルスの影響が色濃く出たものとなりました。

またこのコロナ禍にあり積極的な活動が制限される中でしたが、来場者への検温、消毒液の設置、企業ブース(面談スペース)ではシールド設置などのコロナ感染拡大防止対策を実施し、新しい試みとして広島市内のハローワークを経由した参加希望者への送迎サービスや、また移住者の体験談が聞ける移住相談コーナー、市内の空き家を紹介する空き家バンクコーナー、就農相談コーナーなど昨年以上に「庄原で暮らす」を強化、充実を図りました。

ハローワークと連携し、ハローワークによる求職者へのアプローチもあり、前年を上回る34名の求職者に参加をいただきました。今回は20代、50代以上の年齢層の参加が相対的に多く、各企業のブースで企業の説明に熱心に聞き入っている様子や、セカンドライフを見据えた転職のために訪れ、移住相談コーナーで話し込む姿も見られました。

本社が駅前に移転しました
パン・お土産・コーヒーなども取り揃えています
気軽にお立ち寄りください。

**BIHOKU
備北交通株式会社**
〒727-0011
広島県庄原市東本町三丁目12番12号
TEL 0824-72-2122

**本社1階に
たび館庄原移転しました!**

家族旅行から
団体旅行まで!
お気軽にご相談
ください。

営業時間 9:00~18:00
(土、日、祝 休)

窓口業務 旅行関係取扱い
バスピー
乗車券販売

マース 庄原版MaaS実証実験を 行いました!

第2弾!



庄原商工会議所は広島県・庄原市・備北交通(株)・呉工業高等専門学校等と共同で、経済産業省公募の「地域新MaaS創出推進事業」に採択されたことを受け、昨年引き続き「庄原版MaaS」の第2段階実証実験を行いました【11/24(火)～12/23(水)の間で実施】。今年度は、庄原市中心街地と県立広島大学庄原キャンパスとを結ぶ約10*のルートでセミデマンドバスを運行し、利用者は乗降予約を富士通Japan(株)の「予約ウェブサービス」を用いて行いました。前回の実験からさらに1歩踏み込んだ「オール・IT(Information Technology、情報技術)」による運行実験です。この実験により得られた結果を詳細に解析し、庄原での実装実現に向けて進んでいきます。

この事業の掲げる目標は、すでに地域にある輸送資源(車両や運転士)を最大限活用し、輸送手段の確保と利便性の向上の両立をさせる他、旅客輸送以外のニーズを発見し、収入を見込める持続可能なサービスモデルを形成し、その中で新たな交通需要の掘り起こしと移動者の消費活動による地域経済の活性化を図ることにあります。

ご協力いただいた地域の皆さん、心より感謝致します!

- ① 県立広島大学庄原キャンパスの学生さん・教職員の方々：54名
 - ② 山内自治振興区にお住いの住民：27名
 - ③ 東自治振興区にお住いの住民：23名
(関係者3名) 計：107名
- ※延べ利用者数(速報値):297名

モニター様等から
いただいた声(一部)

- 料金が安いのでよかった
- 家の近くまで来てくれるので助かった
- ぜひ本運行して欲しい
- 外出する機会が増えた などなど



速報

庄原市キャッシュレス決済推進協議会

12月末に庄原市の全世帯に「いざなぎカード」の申込書が発送されました。
申請はもうお済みでしょうか?

「いざなぎカード」の発送準備も始まり、協議会の準備もいよいよ佳境に入っております。

加盟店説明会につきましては2月中旬を目途に開催する予定です。詳細は後日改めてご案内申し上げますので、加盟店の皆さまは是非ご参加下さいませようお願い致します。

11月末での第1次募集では市全域で177店舗に加盟いただきました。加盟店は現在も募集中です。加盟についてのご質問などがあればお気軽にお問い合わせください。

また、商工会議所には実際に使用する「モバイル端末」のデモ機を1台用意しております。
気になる方はぜひ、当所へお越しください!

TEL(0824)72-2121 キャッシュレス決済推進事業 担当:富



N 西田産業株式会社



西田産業(株) 庄原SS

TEL0824-72-0215

〒727-0011 庄原市東本町1-23-21

西田産業(株) セルフ上原

TEL0824-72-2345

〒727-0022 庄原市上原町2672-7

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アメリカンファミリー生命保険会社代理店

コスモ石油のMyカーリース

コスモスマートビークル



ワンズレンタカー

☎ 0120-15-3232 <http://www.ones-rent.com>

中古車を安く買うなら

SUPER AUCTION
スーパーオークション

会 員 情 報

こんな仕事やってます!

よもぎカフェ

広島県庄原市口和町宮内285

TEL 080-4174-7851

- ▶ホームページ <https://yomogi-cafe.jp> ▶E-mail info@yomogi-cafe.jp
▶営業時間 11:30~16:00頃(要予約) ▶定休日 不定休



こ だわりの良質な食事を提供する事で訪れていただいた方に活力を感じて頂きたいという思いから始めました。種・苗から選んで自家栽培した野菜や地元の食材、自分たちの手で育てる放牧豚などを使用した料理を提供しています。

このコーナーは会員さんが自由に使っていただけます。会社(事業所)・お店の紹介をしませんか? **無料**

●お申込み・お問合せ 庄原商工会議所 会員情報担当 梶谷

遠慮なくなんでもお問い合わせ下さい。



庄原まちなか観光会議 ひさご山 整備事業を 行いました

「桜まつり」「花火大会」の会場として大きな役割を担っている上野公園の整備を行いました。以前のひさご山は市民の憩いの場として桜の木がきれいに花を咲かせ、山頂からは上野公園が一望できる絶景スポットでした。しかし、現在は桜も老衰で枯れ、自然に生えた樹木も大きくなり鬱蒼とした雰囲気の様変わりしてしまいました。

整備を行うことで市民の憩いの場作りはもとより、観光名所としての再発掘が出来れば新たなニーズを生み出し、庄原まちなか観光会議の目標の一つである「庄原上野公園への観光客の増加」へつながると考えました。

今回は、古墳横にあった元・測候所の小屋の取壊しと樹木の伐採を行い、景観の美化作業に重点を置きました。樹木の伐採を行ったことで鬱蒼とした印象が払しょくされ、皆様が歩きやすい環境へ近づいたと思います。

今後も継続して活動を行い、「庄原上野公園」の魅力増加に努めてまいります。



平和印刷株式会社

www.digi-hit.com

heiwapri@mocha.ocn.ne.jp

本社工場

〒727-0014
広島県庄原市板橋町324-7
TEL.0824-72-1145
FAX.0824-72-0284

三次営業所

〒729-4211
広島県三次市吉舎町吉舎846-1
TEL.0824-43-7034
FAX.0824-43-7035

広島営業所

〒731-0123
広島県広島市安佐南区古市3丁目36-6
TEL.082-830-0581
FAX.082-830-0582

